

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
Kasagi@eolas-net.ne.jp

春 福



◆皆さま、お元気で新しい年をお迎えのこととご拝察いたします。常日頃のご厚情に心から感謝申し上げます。

◆この一年、自分なりに与えられた仕事を一生懸命させていただいたつもりですが、振り返ってみると力量不足を痛感します。もともと自己の「過信」だったのでしょ。生かされているとの思いを大切に引き続き頑張ります。

◆市議会では、質問のチャンスを逃さないように心がけました。特に直接的に雇用が生まれる政策の展開と、弱い立場に依拠した福祉の実現に力を注ぎました。

「人間みな平等」は私の強い人生観で、政治は弱者のためにあると信じています。

◆昨年も悲しい出来事が多くありました。収穫前の野菜をそのまま土に埋める一農家の気持ちはどんなだったでしょう。「市場経済だから」で済むなら政治はいりません。輸入の制限が必要です。

◆晴れた日の大雪山景色や月夜の美しさを身体の心棒で感ずるようになりました。幸田露伴の娘、幸(あや)は、月に着陸したアポロを「月の塵」と痛烈に批判しています。

「宇宙飛行士は英雄」の時代に、稟とした自己主張に魅力とパワーを感じました。

◆百家争鳴で憲法改正が議論されています。某評論家は645兆円の借金解消は戦争かデノミしかないとまでいいだしています。たとえ少数派になろうとも軍隊と武力だけは認める気にはなりません。

◆「白髪被両びん」。日に日に髪が白くなってきました。43歳にしては多すぎると迷いますが、染めないで「ありのまま」でいこうと思います。

◆煙草を一日二箱ほど吸ってきましたが、また、やめてみようとしています。三回ほどの禁煙失敗経験者ですが今度こそ「公言」してがんばります。

◆雪の多いお正月は豊かな年と云われます。福寿草は「冬来たりなば春遠からじ」と芽を大きくふくらしています。皆さまにとって幸多き年でありますように。

2001年 元旦

笠木かおる

第4回定例市議会報告

1.5億8千万円の補正予算を可決

第4回定例市議会は12月1日から18日までの18日間の会期で開かれました。

今議会では、1,585,497千円の一般会計補正予算やエコ・スポーツパーク事業に係わる助役の減給処分などが承認され、「野菜の緊急輸入制限措置の発動に関する意見書」などが採択されました。補正予算の約3分の1にあたる520,000千円が生活保護扶助費で、生活保護世帯が増加していることが気になります。

私は8日に一般質問にたち、①低所得者層の介護保険料軽減措置制度の導入②市民が利用しやすい「総合サービス窓口」の新設とデータ管理の一元化③まちづくり基本条例の制定④旭川商工信組と中小企業の育成の4点にわたって質問し、理事者側から概ね期待のできる答弁を得ることができました。

介護保険料の軽減 主張は十分理解できる (要旨)



(笠木) 低所得者層の介護保険料軽減措置の検討に入らなかった理由はなにか。

(答弁) 所得により5段階の保険料方式になっており、一定の負担はお願いすることになる。

(笠木) 負担と給付の精神を無原則に崩してはならないが、保険料の支払いに苦しみ悲鳴

をあげている生活弱者の方々に少しでも政治や行政の光を当てる必要がある。

生活保護世帯は実質、保険料・利用料が免除されるが、生活保護基準額以下でも生活保護を受けずに一生懸命生活している方は保険料・利用料を負担しなければならない。この矛盾をどう考えるか。

(答弁) 趣旨は理解できるが制度上難しい。

(笠木) 神戸市などでは、すでに独自の制度を取り入れ厚生省もそれを見とめている。

低所得者の方々に対する介護保険料・利用料の減免・軽減は本市の大きな政策判断だし、市長の政治判断に尽きる。

市長の所見を明らかにしていただきたい。

(市長) 笠木議員の主張は十分理解できるが、もう少し様子をみさせていただきたい。

【解説】

65歳以上の第1号被保険者の介護保険料は現在、2分の1で徴収されていて、今年10月からは今の倍になります。

厚生省は、保険料の全額免除などは認めていないものの、自治体独自で行なう低所得者層の軽減措置については認めました。

私は特に、生活保護基準額以下で保護を受けずに生活している世帯への軽減措置を主張しましたが、市長も独自措置の必要性について認識され検討に入ろうとしています。



窓口サービスの積極的な改善を求める (要旨)

- (笠木) 市役所の顔である窓口サービスは現状、何カ所に分散しているか。ワンストップサービスに向けての課題は何か。
- (答弁) 一つの窓口にあらゆる手続きが済む方向性で、可能なものから随時、改善していきたい。
- (笠木) 総合窓口の新設を行えないか。またデータの共有化により、いわゆる「たらい回し」は解消できるのではないか。
- (答弁) 庁舎スペース等の問題もあるが、より総合的な窓口化に向け、具体的な改善を検討していく。
また、プライバシーの保護を前提に、情報データを共有化を図り、申請や手続きの無駄を解消していきたい。

【解説】

現在、様々な手続きを行なうのに住民票が必要ですが、その部署に住民票データをつなげば、住民票をとる必要がなくなります。また、戸籍や税、福祉、国保、年金などの窓口の集合配置が求められています。

13年度中に市民参加条例制定へ (要旨)

- (笠木) 市民参加条例は、具体的にどのように制定し、条例の骨子はどうか。
- (答弁) 市民との協働作業を通じて内容を検討していく。住民投票も検討課題になる。
- (笠木) 市民参加条例とは別に「まちづくり基本条例」を制定する考えはあるか。
- (答弁) 市民参加条例を13年度中に制定することになる。自治体の基本条例は、今後調査研究していく。



【解説】

旭川市政の基本理念は「市民参加」「市民主役」であり、今年、市民参加条例が制定されます。この中には市の政策決定を市民が直接、投票で決めることができる住民投票制度を盛り込む考えです。

商工信組は地域の重要な金融機関 (要旨)



- (笠木) 信組の支援は預託や融資、補助、出資など色々な方法があるが、自己資本比率をあげるには出資しかないと思うが。
- (答弁) 財務の健全化を図る意味では、出資も一つの方法だ。

【解説】

旭川商工信組は、地銀や信金などの融資が難しい案件を取り扱っている金融機関で、零細企業や個人商店の最後の拠所の位置づけをもった金融機関です。
事業資金は現在、1,400強の事業所に貸し出しています。

平成13年度の国家予算

国の合同庁舎建設スタート

旭川十勝道路に新たな調査費

平成13年度国家予算の大蔵原案が内示されました。旭川市に関連する事業の予算確保の主な状況は、

- ☆ 国の合同庁舎建設費として15億円が計上されました。
- ☆ 地域高規格道路(旭川十勝道路)の旭川空港と美瑛町の間、16線の路線決定のための調査費がつけました。
- ☆ 北海道縦貫自動車道(深川~旭川鷹栖間)の4車線化に伴う建設費(約5割分)が確保されました。
- ☆ 東光スポーツ公園と忠和公園の整備費が確保されました。



国の合同庁舎は1期分と2期分にわかれ建設費は約120億円です。13年度から工事着工の予定で、北彩都あさひかわ整備事業が目に見える形で進むことになります。

鷹栖の旭川北インターから占冠村までつなぐ「旭川十勝道路」の調査費が新たにつき、路線の最終決定が間近となってきました。

平成13年度旭川市予算の要望書を提出

民主党あさひかわの政策審議の仕事に責務を持ってきましたが、来年度旭川市予算に関わる要望書をまとめ12月22日、菅原功一市長に手渡しました。



- 内容は7分野40項目にまとめましたが特徴としては、
- ☆ 大雪山連峰の世界遺産指定をめざす調査研究の推進
 - ☆ 低所得者層の介護保険料・利用料の軽減措置制度の導入
 - ☆ 乳幼児医療費の助成制度の拡充
 - ☆ 青少年科学館の新築整備
 - ☆ 歴史的建築物の保存
 - ☆ 事業系ゴミの分別推進
 - ☆ コールセンターの誘致をはじめ速効性のある雇用創出事業の展開
 - ☆ 農業再生産資金融資制度の創設など中核農家の育成
 - ☆ 国際チャータ便運行など、国際経済交流の推進
- などの予算化を要望しました。
今後、具体的な予算づけに頑張っていきます。

倉沼の山に登りました



10月24日、雪の降る前にといい、倉沼の政二博さんと伊藤孝義住職につられ、旭山公園の一つ奥の山に登ってみました。

そこは国土地理院の三角点の場所で、そこに展望台を創れば大雪山系から旭川市内郊外まで360度一望できるようで、地元の人達の夢のある話を一緒に楽しみました。

たった一つ残った屯田兵屋

東旭川下兵村(南2丁目)に、道北ではたった一つ、屋外にそのまま「屯田兵屋」が残っています。歴史的建築物の第一人者である川島洋一東海大学教授と11月6日、現地を訪ねました。



川島教授の話では、屋根の煙窓や立て板壁など、保存状態は「一級品」とのこと。なんとか歴史的な文化財として残すことができなにかと思っています。

保存してきた小山 さんに何回かお会いし昔話をお聞きしましたが小山さんはまさに、乏しく厳しい開拓生活の「生きびき」でした。

その小山さんが12月28日、ご逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

